

### 3. 1. 5. 竹久夢二・高畠華宵と大正ロマン・昭和モダンの画家たち展

概要	<p>竹久夢二は、岡山県に生まれ、明治から大正への新旧渾然とした風俗を背景に、郷愁と憧憬を感じさせる女性像で、絶大な人気を誇った。</p> <p>高畠華宵は、京都市立美術工芸学校日本画科で学び、大正・昭和の憧れの生活スタイルを、モダンな衣装に身を包んだ女性像であらわし、熱狂的な支持を受け、大正後半から昭和にかけて、ひとつの時代を築いた。</p> <p>本展では、大正・昭和の大衆に幅広く受け入れられた竹久夢二、高畠華宵、落谷虹児、岩田専太郎、中原淳一など、大正ロマン・昭和モダンを代表する作家たちの日本画、版画、絵葉書、楽譜、装丁本などを幅広く紹介し、近代日本絵画展開の過渡期に、大きく花開いた大正ロマン・昭和モダンの世界を振り返った。</p>
会期	平成19年9月7日(金)～10月28日(日) 公開日数 46日
主催	大分市美術館
後援	大分合同新聞社、NHK大分放送局、OBS大分放送、TOSテレビ大分、OAB大分朝日放送、大分ケーブルテレコム、エフエム大分
出品点数	日本画・版画・絵葉書・楽譜・装丁本など218点
観覧者数	9,008人
観覧料	一般800(600)円/高大生600(400)円 中学生以下無料 ※( )内は20名以上の団体。
展示解説	■美術館職員による展示解説(要観覧料) 日時 会期中毎週水曜日 午後2時～ 場所 企画展示室 参加者 125名
印刷物	・ポスターB2版、チラシA4版
関連記事	「郷愁漂う大正・昭和のアートたち」『西日本新聞』朝刊 8月25日 「美人画が中心に力作ズラリ」「大正・昭和を彩る218点」『大分合同新聞』夕刊9月7日 「美人画展を訪ねて」『大分合同新聞』朝刊9月18日 「挿絵・絵はがき 夢二らの世界」『朝日新聞』朝刊9月19日 「38作家の218点作品紹介」『大分合同新聞』夕刊9月27日 「世相をとらえた38作家218点」『大分合同新聞』夕刊10月11日

(担当 嶋田・大神)

## 目録

No.	作者	作品名	制作年	寸法 (cm)	素材・技法
1	竹久夢二	ワイングラス	制作年不詳	35.3×117.2	紙本淡彩
2	竹久夢二	松原の女	制作年不詳	31.0×135.0	紙本淡彩
3	竹久夢二	夏の宵	制作年不詳	138.0×34.0	紙本淡彩
4	竹久夢二	星まつり	制作年不詳	32.2×114.6	紙本着色
5	竹久夢二	さみだれや	制作年不詳	約150×150	紙本淡彩
6	竹久夢二	『婦人グラフ』 「APL FOOL」	1926	32.5×24.5	木版画
7	竹久夢二	『婦人グラフ』 「花火」	1924	32.5×24.5	木版画
8	竹久夢二	『婦人グラフ』 「1926年春」	1926	32.5×24.5	木版画
9	竹久夢二	『婦人グラフ』 「如月の傳説」	1926	32.5×24.5	木版画
10	竹久夢二	港屋絵草紙店	1924	32.0×25.0	木版画
11	竹久夢二	小春	制作年不詳	75.0×56.5	木版画
12	竹久夢二	治兵衛	制作年不詳	75.0×56.5	木版画
13	竹久夢二	黒猫を抱く女	制作年不詳	75.0×56.5	木版画
14	竹久夢二	秋のしらべ	1924	44.0×36.5	木版画
15	竹久夢二	寝椅子	1924	44.0×36.5	木版画
16	竹久夢二	麻利耶観音	1924	44.0×36.5	木版画
17	竹久夢二	秋	1924	44.0×36.5	木版画
18	竹久夢二	童話	1924	44.0×36.5	木版画
19	竹久夢二	雪の夜の伝説	1926	44.0×36.5	木版画
20	竹久夢二	化粧の秋	1924	44.0×36.5	木版画
21	竹久夢二	星合	1924	44.0×36.5	木版画
22	竹久夢二	勇敢な恋人	1924	44.0×36.5	木版画
23	竹久夢二	春けき国へ	制作年不詳	108.0×41.0	絹本淡彩
24	竹久夢二	夏の女	制作年不詳	31.0×135.3	紙本淡彩
25	竹久夢二	雛まつり	制作年不詳	115.0×33.0	絹本淡彩
26	竹久夢二	五千石辞しても涼しき紙子かな	制作年不詳	28.0×45.0	紙本淡彩
27	竹久夢二	春の山	制作年不詳	44.7×21.5	紙本淡彩
28	竹久夢二	自画像	1926頃	123.5×27.5	紙本淡彩
29	竹久夢二	春の灯や 雛の衣 つくけり	制作年不詳	115.0×28.5	紙本淡彩
30	竹久夢二	舞妓	制作年不詳	23.5×26.5	紙本淡彩
31	竹久夢二	『朝顔』 挿絵原画	制作年不詳	48.5×39.5	インク・鉛筆・墨・紙
32	竹久夢二	「関東大震災」スケッチ	1923	38.0×45.5	インク・鉛筆、紙
33	竹久夢二	「関東大震災」スケッチ	1923	38.0×45.5	インク・鉛筆、紙
34	竹久夢二	デッサン (ノートブックより)	1918頃	16.0×25.6	鉛筆、紙
35	竹久夢二	デッサン (ノートブックより)	1918頃	17.0×11.6	鉛筆、紙
36	竹久夢二	デッサン (ノートブックより)	1918頃	17.0×12.0	鉛筆、紙
37	竹久夢二	デッサン (ノートブックより)	1918頃	16.8×11.7	鉛筆、紙
38	竹久夢二	デッサン (ノートブックより)	1918頃	25.2×16.2	鉛筆、紙

39	竹久夢二	デッサン（ノートブックより）	1918頃	17.0×11.5	鉛筆、紙
40	竹久夢二	デッサン（ノートブックより）	1918頃	17.2×24.5	鉛筆、紙
41	竹久夢二	デッサン（ノートブックより）	1918頃	12.3×17.3	鉛筆、紙
42	竹久夢二	デッサン（ノートブックより）	1918頃	17.5×24.5	鉛筆、紙
43	竹久夢二	デッサン（ノートブックより）	1918頃	24.8×16.0	鉛筆、紙
44	竹久夢二	著作本 『童謡の本・凧』	1926	21.0×16.0	書籍
45	竹久夢二	著作本 『露台薄暮』	制作年不詳	19.5×14.0	書籍
46	竹久夢二	装帳本 吉井勇著『祇園双紙』	1917	16.0×11.5	書籍
47	竹久夢二	著作本 『三味線草』	制作年不詳	17.0×11.5	書籍
48	竹久夢二	著作本 『恋愛秘語』	制作年不詳	19.5×13.5	書籍
49	竹久夢二	絵はがき	制作年不詳	14.8×10.0	オフセット版
50	竹久夢二	装帳本 『若草』	1926	22.0×15.0	書籍
51	竹久夢二	装帳本 『若草』	1929	22.0×15.0	書籍
52	竹久夢二	装帳本 『若草』	1929	22.0×15.0	書籍
53	竹久夢二	装帳本 『若草』	1930	22.0×15.0	書籍
54	竹久夢二	装帳本 『若草』	1930	22.0×15.0	書籍
55	竹久夢二・ 岩田専太郎 他	少女十二カ月双六	1928	78.0×55.0	カラー印刷
56	竹久夢二	セノオ楽譜 『暮れて行く』	1916～昭和初期	30.8×22.8	オフセット版
57	竹久夢二	セノオ楽譜 『ボガボガ・ベラル』	1916～昭和初期	30.8×22.8	オフセット版
58	竹久夢二	セノオ楽譜 『サラオー・頌歌』	1916～昭和初期	30.8×22.8	オフセット版
59	竹久夢二	セノオ楽譜 『可愛や胡蝶』	1916～昭和初期	30.8×22.8	オフセット版
60	竹久夢二	セノオ楽譜 『陽気な鍛冶屋』	1916～昭和初期	30.8×22.8	オフセット版
61	竹久夢二	セノオ楽譜 『我家の唄』	1916～昭和初期	30.8×22.8	オフセット版
62	竹久夢二	セノオ楽譜 『桜町』	1916～昭和初期	30.0×22.8	オフセット版
63	竹久夢二	セノオ楽譜 『鐘』	1916～昭和初期	30.8×22.8	オフセット版
64	竹久夢二	セノオ楽譜 『我を偲び給へ』	1916～昭和初期	30.8×22.8	オフセット版
65	竹久夢二	セノオ楽譜 『さらば我世の幸福よ』	1916～昭和初期	30.8×22.8	オフセット版
66	高島華宵	南国の唄	制作年不詳	23.0×17.0	水彩、紙
67	高島華宵	正月の羽根	制作年不詳	23.0×35.0	紙本着色
68	高島華宵	花吹雪舞妓	制作年不詳	23.0×35.0	紙本淡彩
69	高島華宵	ほたる籠	制作年不詳	23.0×35.0	紙本着色
70	高島華宵	カナリアと娘	制作年不詳	22.0×11.5	水彩、紙
71	高島華宵	娘二十まで	制作年不詳	各12.0×12.0	インク、紙

72	高島華宵	娘二十まで	制作年不詳	各 12.0×12.0	インク、紙
73	高島華宵	娘二十まで	制作年不詳	各 12.0×12.0	インク、紙
74	高島華宵	娘二十まで	制作年不詳	各 12.0×12.0	インク、紙
75	高島華宵	妻は何処に	制作年不詳	11.0×11.0・11.0×22.0	インク、紙
76	高島華宵	白拍子	制作年不詳	134.4×32.6	紙本淡彩
77	高島華宵	合鏡・化粧図	制作年不詳	39.6×51.6	絹本着色
78	高島華宵	あじさい娘	制作年不詳	123.8×40.6	絹本着色
79	高島華宵	梅花舞妓図	制作年不詳	94.4×27.5	絹本着色
80	高島華宵	祇園夜桜	制作年不詳	101.4×40.4	絹本着色
81	高島華宵	八幡太郎義家	制作年不詳	120.8×34.2	絹本着色
82	作者不詳	中原淳一風 少女図 口紅	制作年不詳	14.0×9.0	木版画
83	作者不詳	中原淳一風 少女図 たそがれ	制作年不詳	14.0×9.0	木版画
84	作者不詳	中原淳一風 少女図 夕涼み	制作年不詳	14.0×9.0	木版画
85	作者不詳	中原淳一風 少女図 かがみ	制作年不詳	14.0×9.0	木版画
86	作者不詳	中原淳一風 少女図 ねがひ	制作年不詳	14.0×9.0	木版画
87	作者不詳	中原淳一風 少女図 こたつ	制作年不詳	11.8×18.4	木版画
88	作者不詳	中原淳一風 少女図 三味線	制作年不詳	14.0×9.0	木版画
89	作者不詳	中原淳一風 少女図 花かんざし	制作年不詳	14.0×9.0	木版画
90	作者不詳	中原淳一風 少女図 花ふぶき	制作年不詳	14.0×9.0	木版画
91	蒔谷虹児	少女	制作年不詳	40.0×31.0	紙本着色
92	蒔谷虹児	女人伴天運第二話 おん主の嘆き 『婦人グラフ』	1924	13.4×17.8	木版画
93	蒔谷虹児	山上 『婦人グラフ』	1924	16.8×9.4	木版画
94	蒔谷虹児	『お留守居』 表紙絵	制作年不詳	21.6×15.0	水彩、紙
95	蒔谷虹児	『童幼の国』 表紙絵	制作年不詳	33.0×23.4	水彩、紙
96	蒔谷虹児	姉妹仲よし双六	1921	78.0×55.0	カラー印刷
97	大倉 九節	高橋掬太郎著『花かんざし』花かんざし	制作年不詳	23.0×16.0	木版画
98	大倉 九節	高橋掬太郎著『花かんざし』雪	制作年不詳	23.0×16.0	木版画
99	大倉 九節	高橋掬太郎著『花かんざし』赤提灯	制作年不詳	23.0×16.0	木版画
100	大倉 九節	高橋掬太郎著『花かんざし』読書	制作年不詳	23.0×16.0	木版画
101	大倉 九節	高橋掬太郎著『花かんざし』のれん	制作年不詳	23.0×16.0	木版画
102	大倉 九節	高橋掬太郎著『花かんざし』装丁本	1918	25.0×19.0	雑誌
103	宇崎 純一	絵はがき	制作年不詳	14.0×9.0	カラー印刷
104	太宰 敦夫	絵はがき (内袋2)	制作年不詳	14.0×9.0	折本
105	作者不詳	『コドモアサヒ』	制作年不詳	26.0×19.0	雑誌
106	素 郷	元禄美人図	制作年不詳	45.0×15.6	羽子板に絹、彩色
107	岡本 一平	創作中の漱石先生	制作年不詳	22.6×35.0	扇子
108	鐫木 清方	茶屋娘	制作年不詳	99.9×26.4	絹本着色
109	鐫木 清方	唐人お吉	制作年不詳	63.0×73.0	紙本着色
110	伊東 深水	蚊張美人画 (双幅)	制作年不詳	各 112.4×26.8	絹本着色

111	北野 恒富	火鉢の前	制作年不詳	116.4×37.0	絹本着色
112	鳥居 言人	紅化粧	制作年不詳	102.0×32.2	絹本着色
113	池田 輝方	汐干狩二美人図	制作年不詳	126.0×41.2	絹本着色
114	池田 蕉園	七夕	制作年不詳	113.0×41.0	絹本着色
115	伊藤小坡	船あそび	制作年不詳	129.0×42.4	絹本着色
116	島 成園	化粧	制作年不詳	127.4×23.8	絹本着色
117	島 成園	夏の女	制作年不詳	104.2×35.8	絹本着色
118	橘 小夢	娘	制作年不詳	115.6×41.0	絹本着色
119	岩田 専太郎	吹雪の女	制作年不詳	36.0×43.8	水彩、紙
120	岩田 専太郎	近代美人	制作年不詳	26.2×18.8	水彩、紙
121	岩田 専太郎	『講談の泉』 表紙絵	制作年不詳	21.4×21.0	水彩、紙
122	岩田 専太郎	小島政二郎著 『甘肌』	制作年不詳	37.2×42.2	水彩、紙
123	岩田 専太郎	小島政二郎著 『甘肌』 ポスター	制作年不詳	30.5×48.0	カラー印刷
124	岩田 専太郎	大佛次郎著 『天狗廻状』	1932	21.8×30.8	墨・水彩、紙
125	岩田 専太郎	雑誌 『苦楽』 挿絵原画	制作年不詳	23.4×15.0 他	インク、紙
126	中原 淳一	サイン色紙	制作年不詳	23.0×25.8	インク、紙
127	中原 淳一	サイン色紙	1956	23.0×25.8	インク、紙
128	中原 淳一	挿絵原画 腕を組む男	制作年不詳	28.6×17.6	インク・色鉛筆、紙
129	中原 淳一	挿絵原画 親子	制作年不詳	28.6×17.6	インク、紙
130	高島華宵	七転八起開運出世双六	1924	55.0×79.0	カラー印刷
131	高島華宵	絵はがき 『夕空』 『武運の祈りて』	制作年不詳	14.0×9.3	カラー印刷
132	落谷虹児	『令女界』	制作年不詳	22.5×15.0	雑誌
133	落谷虹児	『令女界』	制作年不詳	22.5×15.0	雑誌
134	須藤 しげる	少女数へ歌 双六	1929	20.2×31.3	双六
135	中原 淳一	ランドゲーム	1940	カード各 9.0×3.0	カラー印刷
136	岩田 専太郎	昭和美人図	制作年不詳	42.2×14.2	羽子板
137	岩田 専太郎	岩田専太郎装丁本・大佛次郎著『赤穂浪士』	1929	各 19.0×13.2	書籍
138	岩田 専太郎	絵はがき (慰問袋)	制作年不詳	14.0×9.0	カラー印刷
139	中原 淳一	『少女の友』	1939	22.0×15.0	雑誌
140	小早川 清	唐人お吉	制作年不詳	43.6×51.8	絹本着色
141	小早川 清	ささやき	制作年不詳	130.4×42.3	絹本着色
142	伊藤 晴雨	浴後の涼み	制作年不詳	122.0×40.6	絹本淡彩
143	木谷千種	湯あがり	制作年不詳	40.0×46.4	絹本着色
144	伊藤 幾久造	八幡太郎義家	制作年不詳	131.0×50.4	絹本着色
145	作者不詳	馬上の源義経	制作年不詳	98.0×82.0	幼児着物
146	中原 淳一	娘十二ヶ月 一月 (鹿子帯)	1939 頃	20.5×15.6	木版画
147	中原 淳一	娘十二ヶ月 二月 (如月の雪)	制作年不詳	20.5×15.6	木版画
148	中原 淳一	娘十二ヶ月 三月 (紅屋)	制作年不詳	20.5×15.6	木版画
149	中原 淳一	娘十二ヶ月 四月 (三味線)	制作年不詳	20.5×15.6	木版画

150	中原 淳一	娘十二ヶ月 五月（願ひ）	制作年不詳	20.5×15.6	木版画
151	中原 淳一	娘十二ヶ月 六月（蛩）	制作年不詳	20.5×15.6	木版画
152	中原 淳一	娘十二ヶ月 七月（七夕）	制作年不詳	20.5×15.6	木版画
153	中原 淳一	娘十二ヶ月 九月（雨）	制作年不詳	20.5×15.6	木版画
154	中原 淳一	娘十二ヶ月 十月（浮世絵やの娘）	制作年不詳	20.5×15.6	木版画
155	中原 淳一	娘十二ヶ月 十一月（鏡）	制作年不詳	20.5×15.6	木版画
156	中原 淳一	娘十二ヶ月 十二月（雪）	制作年不詳	20.5×15.6	木版画
157	橘 小夢	唐人お吉	1933	32.0×21.0	木版画
158	橘 小夢	お蝶夫人	1934	32.3×21.0	木版画
159	橘 小夢	刺青	1937	30.0×18.0	オフセット版
160	橘 小夢	水魔	1932	32.0×21.0	オフセット版
161	橘 小夢	タカラジェンヌ	制作年不詳	24.0×18.0	木版画
162	橘 小夢	タカラジェンヌ	制作年不詳	23.5×18.0	木版画
163	松本 かつぢ	みずうみのほとり	制作年不詳	27.2×22.6	水彩、紙
164	松本 かつぢ	ばらの少女	制作年不詳	19.2×14.2	水彩、紙
165	松本 かつぢ	アリゾナの緋薔薇	1951	19.4×32.2	インク、紙
166	松本 かつぢ	アリゾナの緋薔薇	1951	23.8×31.2	インク、紙
167	松本 かつぢ	アリゾナの緋薔薇	1951	25.2×32.2	インク、紙
168	川西 英	サロメ	制作年不詳	116.6×30.6	布に金彩
169	川西 英	楽器を持つ女	制作年不詳	122.6×30.4	水彩、紙
170	川西 英	美人画	制作年不詳	24.0×23.0	団扇彩色
171	川西 英	美人画	制作年不詳	24.5×27.0	団扇彩色
172	川西 英	美人画	制作年不詳	22.0×28.0	団扇彩色
173	川西 英	美人画	制作年不詳	17.0×23.0	団扇彩色
174	川西 英	短冊四図	制作年不詳	各 35.7×6.0	水彩、紙
175	中原 淳一	絵はがき	制作年不詳	14.8×10.0	カラー印刷
176	中原 淳一	『野薔薇』 楽譜	1938	25.5×21.5	カラー印刷
177	蒔谷虹児	絵はがき	制作年不詳	14.8×10.0	カラー印刷
178	蒔谷虹児	レコードジャケット	制作年不詳	31.5×34.5	カラー印刷
179	伊東 深水	昭和美人風俗	1931	34.8×23.0	オフセット版
180	伊東 深水	新美人十二姿 おしろい	1923	38.6×23.6	木版画
181	小早川 清	水谷八重子像（大羽子板）	制作年不詳	75.6×32.0	絹本着色
182	小早川 清	唐人お吉	制作年不詳	30.8×41.2	木版画
183	小早川 清	近世時世ノ粧内 口紅	1931	48.2×27.3	木版画
184	山村 耕花	犬を連れた洋装婦人	制作年不詳	147.5×30.0	水彩、紙
185	山村 耕花	踊り	1924	39.0×25.4	木版画
186	山村 耕花	『京洛異変』 挿絵原画	制作年不詳	19.2×30.2	墨・鉛筆、紙
187	小村 雪岱	お伝地獄	1933	27.2×52.0	木版画
188	小村 雪岱	『両国』 挿絵原画	制作年不詳	17.2×12.4 他	鉛筆・コンテ、紙

189	鎗木 清方	おさん『近松全集挿絵版画集』	1923	32.4×23.4	木版画
190	鎗木 清方	モダン美女	制作年不詳	29.6×19.8	オフセット
191	志村 立美	『酉の市、女』 挿絵原画	制作年不詳	26.8×18.8	紙・水彩
192	志村 立美	『恋慕奉行』 挿絵原画	制作年不詳	15.8×19.8	ペン・墨、紙
193	志村 立美	『二つの瞳』（美空ひばり）	制作年不詳	34.8×34.8	リトグラフ
194	北野 恒富	鷺娘	1925	45.0×29.8	木版画
195	鳥居 言人	朝寝髪	1930頃	38.4×23.8	木版画
196	伊藤 幾久造	巴御前	制作年不詳	52.8×40.0	絹本着色
197	伊藤 幾久造	辰巳の女	制作年不詳	26.5×24.0	紙本着色
198	伊藤 幾久造	舞妓	制作年不詳	26.5×24.0	紙本着色
199	ひろし	『花嫁人形』 楽譜	1928	26.4×18.4	楽譜
200	ひろし	『忘れな草』 楽譜	1929	26.4×18.4	楽譜
201	ひろし	『アラビアの唄』 楽譜	1929	26.4×18.4	楽譜
202	ひろし	『ハレルヤ』 楽譜	1929	26.4×18.4	楽譜
203	ひろし	『君知るや南の国』 楽譜	1929	26.4×18.4	楽譜
204	ひろし	『AさんとBさん』 楽譜	1929	26.4×18.4	楽譜
205	ひろし	『歓楽の夜曲』 楽譜	1929	26.4×18.4	楽譜
206	ひろし	『紅屋の娘』 楽譜	1929	26.4×18.4	楽譜
207	小村 雪岱	『お傳地獄』	1936	19.8×14.6	書籍
208	小村 雪岱	『浮名三味線 色娘おせん』	1936	19.8×14.0	書籍
209	加藤 まさを	『中山晋平曲』 童謡小曲 第7集	制作年不詳	23.8×17.2	楽譜
210	加藤 まさを	『中山晋平曲』 童謡小曲 第11集	制作年不詳	23.8×17.2	楽譜
211	加藤 まさを	絵はがき（内袋1）	制作年不詳	14.4×9.5	5枚
212	高橋 弘明	ヌード	1928	50.2×34.8	木版画
213	橋口 五葉	化粧	1918	50.2×34.8	木版画
214	戸張 孤雁	温泉宿	1919頃	45.2×31.8	木版画
215	山本 鼎	漁夫 『明星』	1904	16.2×11.0	木版画
216	恩地 孝四郎	ヌード	制作年不詳	23.0×37.2	木版画
217	石川 寅治	踊り	制作年不詳	37.2×28.8	木版画
218	東郷 青児	モダン娘	制作年不詳	33.8×38.0	木版画

### 3. 1. 6. 広重・北斎の東海道五十三次と浮世絵名品展 ＜歌麿・写楽から幕末バラエティーまで＞

**概要** 浮世絵は主に町人が楽しみ、憧れた絵で、庶民の風俗、役者や美人、日本各地の名所などが、色彩豊かに描き出された。とりわけ、江戸中期以降は、版画技法も発達し、後期に至って、浮世絵は最盛期を迎えた。

歌川広重、葛飾北斎に代表される「風景画」に加え、「美人画」、「役者絵」といった浮世絵三大テーマが確立、さらに幕末には、時代の急速な展開、揺れる世情を反映し、奇っ怪な「妖怪絵」、ユーモア溢れる「だまし絵」、欧米への関心を示す「横浜絵」等、様々な趣向の作品が次々に生み出された。

本展では、鳥居清長、喜多川歌麿に代表される「美人画」、東洲斎写楽、歌川豊国らの「役者絵」から、幕末期の歌川広重の名作「東海道五拾三次」、葛飾北斎の「風景画」、歌川国芳の「妖怪絵」等に至る、最盛期の名品 260 点により、活力と創意に溢れる浮世絵の多彩な世界を紹介した。

**会期** 平成 19 年 11 月 2 日(金)～12 月 16 日(日) 公開日数 41 日  
**主催** 大分市美術館、大分合同新聞社  
**後援** NHK 大分放送局、OBS 大分放送、TOS テレビ大分、OAB 大分朝日放送、大分ケーブルテレコム、エフエム大分  
**出品点数** 260 点(内、特別出品 33 点)  
**観覧者数** 9,233 人  
**観覧料** 一般 800 (600) 円/高大生 600 (400) 円、中学生以下無料  
※ ( ) 内は 20 名以上の団体料金

**関連行事** ■美術館職員による展示解説 (要観覧料)

**日時** 会期中毎週水曜日 午後 2 時～  
**場所** 企画展示室  
**参加者** 165 名

■映画上映会 (無料)

**日時** 11 月 11 日、17 日、12 月 1 日、8 日、9 日、15 日  
午後 1 時 30 分～  
**内容** (1) 浮世絵と歌川広重 (2) 浮世絵にみる町人のくらし  
**参加者** 298 人

**印刷物** ・ポスターB2 版・チラシ A4 版

**関連記事** 「鮮やか五十三次の旅「浮世絵名品展」始まる」『大分合同新聞』夕刊 11 月 2 日  
「広重と北斎の東海道五十三次と浮世絵名品展」『大分合同新聞』夕刊 11 月 5 日

「多彩な浮世絵を紹介」『西日本新聞』11月7日

「広重と北斎の東海道五十三次と浮世絵名品展 上・中・下」

『大分合同新聞』夕刊11月22日～24日

「19世紀の旅体験」『大分合同新聞』夕刊12月6日

「風景画、役者絵、美人画・・・多彩な260点」『大分合同新聞』12月3日

(担当 宮崎)

## 目録

No.	作者	作品名	形態
1. 広重と北斎の東海道五十三次			
1	歌川広重	東海道五拾三次 保永堂版 日本橋	錦絵大判
2	歌川広重	東海道五拾三次 保永堂版 品川	錦絵大判
3	歌川広重	東海道五拾三次 保永堂版 川崎	錦絵大判
4	歌川広重	東海道五拾三次 保永堂版 神奈川	錦絵大判
5	歌川広重	東海道五拾三次 保永堂版 保土ヶ谷	錦絵大判
6	歌川広重	東海道五拾三次 保永堂版 戸塚	錦絵大判
7	歌川広重	東海道五拾三次 保永堂版 藤澤	錦絵大判
8	歌川広重	東海道五拾三次 保永堂版 平塚	錦絵大判
9	歌川広重	東海道五拾三次 保永堂版 大磯	錦絵大判
10	歌川広重	東海道五拾三次 保永堂版 小田原	錦絵大判
11	歌川広重	東海道五拾三次 保永堂版 箱根	錦絵大判
12	歌川広重	東海道五拾三次 保永堂版 三島	錦絵大判
13	歌川広重	東海道五拾三次 保永堂版 沼津	錦絵大判
14	歌川広重	東海道五拾三次 保永堂版 原	錦絵大判
15	歌川広重	東海道五拾三次 保永堂版 吉原	錦絵大判
16	歌川広重	東海道五拾三次 保永堂版 蒲原	錦絵大判
17	歌川広重	東海道五拾三次 保永堂版 由井	錦絵大判
18	歌川広重	東海道五拾三次 保永堂版 奥津	錦絵大判
19	歌川広重	東海道五拾三次 保永堂版 江尻	錦絵大判
20	歌川広重	東海道五拾三次 保永堂版 府中	錦絵大判
21	歌川広重	東海道五拾三次 保永堂版 鞠子	錦絵大判
22	歌川広重	東海道五拾三次 保永堂版 岡部	錦絵大判
23	歌川広重	東海道五拾三次 保永堂版 藤枝	錦絵大判
24	歌川広重	東海道五拾三次 保永堂版 嶋田	錦絵大判
25	歌川広重	東海道五拾三次 保永堂版 金谷	錦絵大判
26	歌川広重	東海道五拾三次 保永堂版 日坂	錦絵大判
27	歌川広重	東海道五拾三次 保永堂版 掛川	錦絵大判

28	歌川広重	東海道五拾三次 保永堂版 袋井	錦絵大判
29	歌川広重	東海道五拾三次 保永堂版 見附	錦絵大判
30	歌川広重	東海道五拾三次 保永堂版 濱松	錦絵大判
31	歌川広重	東海道五拾三次 保永堂版 舞坂	錦絵大判
32	歌川広重	東海道五拾三次 保永堂版 荒井	錦絵大判
33	歌川広重	東海道五拾三次 保永堂版 白須賀	錦絵大判
34	歌川広重	東海道五拾三次 保永堂版 二川	錦絵大判
35	歌川広重	東海道五拾三次 保永堂版 吉田	錦絵大判
36	歌川広重	東海道五拾三次 保永堂版 御油	錦絵大判
37	歌川広重	東海道五拾三次 保永堂版 赤阪	錦絵大判
38	歌川広重	東海道五拾三次 保永堂版 藤川	錦絵大判
39	歌川広重	東海道五拾三次 保永堂版 岡崎	錦絵大判
40	歌川広重	東海道五拾三次 保永堂版 池鯉鮒	錦絵大判
41	歌川広重	東海道五拾三次 保永堂版 鳴海	錦絵大判
42	歌川広重	東海道五拾三次 保永堂版 宮	錦絵大判
43	歌川広重	東海道五拾三次 保永堂版 桑名	錦絵大判
44	歌川広重	東海道五拾三次 保永堂版 四日市	錦絵大判
45	歌川広重	東海道五拾三次 保永堂版 石薬師	錦絵大判
46	歌川広重	東海道五拾三次 保永堂版 庄野	錦絵大判
47	歌川広重	東海道五拾三次 保永堂版 亀山	錦絵大判
48	歌川広重	東海道五拾三次 保永堂版 関	錦絵大判
49	歌川広重	東海道五拾三次 保永堂版 阪之下	錦絵大判
50	歌川広重	東海道五拾三次 保永堂版 土山	錦絵大判
51	歌川広重	東海道五拾三次 保永堂版 水口	錦絵大判
52	歌川広重	東海道五拾三次 保永堂版 石部	錦絵大判
53	歌川広重	東海道五拾三次 保永堂版 草津	錦絵大判
54	歌川広重	東海道五拾三次 保永堂版 大津	錦絵大判
55	歌川広重	東海道五拾三次 保永堂版 京師	錦絵大判
56	歌川広重	五十三次名所図会 日本橋	錦絵大判
57	歌川広重	五十三次名所図会 品川	錦絵大判
58	歌川広重	五十三次名所図会 川崎	錦絵大判
59	歌川広重	五十三次名所図会 神奈川	錦絵大判
60	歌川広重	五十三次名所図会 程ヶ谷	錦絵大判
61	歌川広重	五十三次名所図会 戸塚	錦絵大判
62	歌川広重	五十三次名所図会 藤澤	錦絵大判
63	歌川広重	五十三次名所図会 平塚	錦絵大判
64	歌川広重	五十三次名所図会 大磯	錦絵大判
65	歌川広重	五十三次名所図会 小田原	錦絵大判

66	歌川広重	五十三次名所図会 箱根	錦絵大判
67	歌川広重	五十三次名所図会 三島	錦絵大判
68	歌川広重	五十三次名所図会 沼津	錦絵大判
69	歌川広重	五十三次名所図会次 原	錦絵大判
70	歌川広重	五十三次名所図会 吉原	錦絵大判
71	歌川広重	五十三次名所図会 蒲原	錦絵大判
72	歌川広重	五十三次名所図会 由井	錦絵大判
73	歌川広重	五十三次名所図会 奥津	錦絵大判
74	歌川広重	五十三次名所図会 江尻	錦絵大判
75	歌川広重	五十三次名所図会 府中	錦絵大判
76	歌川広重	五十三次名所図会 鞠子	錦絵大判
77	歌川広重	五十三次名所図会 岡部	錦絵大判
78	歌川広重	五十三次名所図会 藤枝	錦絵大判
79	歌川広重	五十三次名所図会 島田	錦絵大判
80	歌川広重	五十三次名所図会 金谷	錦絵大判
81	歌川広重	五十三次名所図会 日坂	錦絵大判
82	歌川広重	五十三次名所図会 掛川	錦絵大判
83	歌川広重	五十三次名所図会 袋井	錦絵大判
84	歌川広重	五十三次名所図会 見附	錦絵大判
85	歌川広重	五十三次名所図会 濱松	錦絵大判
86	歌川広重	五十三次名所図会 舞坂	錦絵大判
87	歌川広重	五十三次名所図会 荒井	錦絵大判
88	歌川広重	五十三次名所図会 白須賀	錦絵大判
89	歌川広重	五十三次名所図会 二川	錦絵大判
90	歌川広重	五十三次名所図会 吉田	錦絵大判
91	歌川広重	五十三次名所図会 御油	錦絵大判
92	歌川広重	五十三次名所図会 赤坂	錦絵大判
93	歌川広重	五十三次名所図会 藤川	錦絵大判
94	歌川広重	五十三次名所図会 岡崎	錦絵大判
95	歌川広重	五十三次名所図会 池鯉鮒	錦絵大判
96	歌川広重	五十三次名所図会 鳴海	錦絵大判
97	歌川広重	五十三次名所図会 宮	錦絵大判
98	歌川広重	五十三次名所図会 桑名	錦絵大判
99	歌川広重	五十三次名所図会 四日市	錦絵大判
100	歌川広重	五十三次名所図会 石薬師	錦絵大判
101	歌川広重	五十三次名所図会 庄野	錦絵大判
102	歌川広重	五十三次名所図会 亀山	錦絵大判
103	歌川広重	五十三次名所図会 関	錦絵大判

104	歌川広重	五十三次名所図会 坂の下	錦絵大判
105	歌川広重	五十三次名所図会 土山	錦絵大判
106	歌川広重	五十三次名所図会 水口	錦絵大判
107	歌川広重	五十三次名所図会 石部	錦絵大判
108	歌川広重	五十三次名所図会 草津	錦絵大判
109	歌川広重	五十三次名所図会 大津	錦絵大判
110	歌川広重	五十三次名所図会 京	錦絵大判
111	柳川重信	東海道五十三次 日本橋	錦絵小判
112	葛飾北斎	東海道五十三次 品川	錦絵小判
113	葛飾北斎	東海道五十三次 川崎	錦絵小判
114	葛飾北斎	東海道五十三次 神奈川	錦絵小判
115	葛飾北斎	東海道五十三次 程ヶ谷	錦絵小判
116	葛飾北斎	東海道五十三次 戸塚	錦絵小判
117	葛飾北斎	東海道五十三次 藤澤	錦絵小判
118	葛飾北斎	東海道五十三次 平塚	錦絵小判
119	葛飾北斎	東海道五十三次 大磯	錦絵小判
120	葛飾北斎	東海道五十三次 小田原	錦絵小判
121	葛飾北斎	東海道五十三次 箱根	錦絵小判
122	葛飾北斎	東海道五十三次 三島	錦絵小判
123	葛飾北斎	東海道五十三次 沼津	錦絵小判
124	柳川重信	東海道五十三次 原	錦絵小判
125	葛飾北斎	東海道五十三次 吉原	錦絵小判
126	葛飾北斎	東海道五十三次 蒲原	錦絵小判
127	葛飾北斎	東海道五十三次 由井	錦絵小判
128	葛飾北斎	東海道五十三次 奥津	錦絵小判
129	葛飾北斎	東海道五十三次 江尻	錦絵小判
130	葛飾北斎	東海道五十三次 府中	錦絵小判
131	柳川重信	東海道五十三次 鞠子	錦絵小判
132	葛飾北斎	東海道五十三次 岡部	錦絵小判
133	柳川重信	東海道五十三次 藤枝	錦絵小判
134	葛飾北斎	東海道五十三次 島田	錦絵小判
135	葛飾北斎	東海道五十三次 金谷	錦絵小判
136	葛飾北斎	東海道五十三次 日坂	錦絵小判
137	葛飾北斎	東海道五十三次 掛川	錦絵小判
138	葛飾北斎	東海道五十三次 袋井	錦絵小判
139	葛飾北斎	東海道五十三次 見附	錦絵小判
140	葛飾北斎	東海道五十三次 濱松	錦絵小判
141	葛飾北斎	東海道五十三次 舞坂	錦絵小判

142	葛飾北斎	東海道五十三次 荒井	錦絵小判
143	葛飾北斎	東海道五十三次 白須賀	錦絵小判
144	葛飾北斎	東海道五十三次 二川	錦絵小判
145	葛飾北斎	東海道五十三次 吉田	錦絵小判
146	葛飾北斎	東海道五十三次 御油	錦絵小判
147	葛飾北斎	東海道五十三次 赤坂	錦絵小判
148	葛飾北斎	東海道五十三次 藤川	錦絵小判
149	葛飾北斎	東海道五十三次 岡崎	錦絵小判
150	葛飾北斎	東海道五十三次 池鯉鮒	錦絵小判
151	柳川重信	東海道五十三次 鳴海	錦絵小判
152	柳川重信	東海道五十三次 宮	錦絵小判
153	葛飾北斎	東海道五十三次 桑名	錦絵小判
154	葛飾北斎	東海道五十三次 四日市	錦絵小判
155	葛飾北斎	東海道五十三次 石薬師	錦絵小判
156	葛飾北斎	東海道五十三次 庄野	錦絵小判
157	葛飾北斎	東海道五十三次 亀山	錦絵小判
158	葛飾北斎	東海道五十三次 関	錦絵小判
159	葛飾北斎	東海道五十三次 坂ノ下	錦絵小判
160	葛飾北斎	東海道五十三次 土山	錦絵小判
161	葛飾北斎	東海道五十三次 水口	錦絵小判
162	葛飾北斎	東海道五十三次 石部	錦絵小判
163	葛飾北斎	東海道五十三次 草津	錦絵小判
164	葛飾北斎	東海道五十三次 大津	錦絵小判
165	柳川重信	東海道五十三次 京	錦絵小判
166		「東海道- 広重画五拾三次現状写真対照」東光園発行	書籍
167	歌川広重	東海道五拾三次 保永堂版 日本橋	(異版) 錦絵大判
168	歌川広重	〃 戸塚	(異版) 錦絵大判
169	歌川広重	〃 池鯉鮒	(普及版) 錦絵大判
170	歌川広重	〃 大津	(後摺り) 錦絵大判

旅模様・東海道中膝栗毛

171	歌川広重	道中膝栗毛 瀬戸川	錦絵大判
172	歌川広重	道中膝栗毛 参宮道白子	錦絵大判
173	歌川広重	膝栗毛道中雀 京都大仏殿	錦絵大判
174	歌川広重	東海道川尽 大井川の図	錦絵大判三枚続
175	三代豊国	東海道五十三次之内 江尻 弥次良兵衛	錦絵大判
176	三代豊国	〃 府中 喜多八	錦絵大判
177	二代広重	諸国名所図会 甲斐身延路鰻澤不二川	団扇絵
178	十返舎一九	東海道中膝栗毛	版本

## 2. 黄金期の浮世絵アラカルト

179	勝川春章	揚巻(あげまき)と助六	錦絵大判
180	勝川春好	三升(みます)市川団十郎の暫	錦絵細判
183	東洲斎写楽	四代目岩井半四郎の乳母 重の井	錦絵大判
184	歌川豊国	役者舞台之姿絵 きの国や	錦絵大判
185	歌川豊国	三浦荒男之助 市川団十郎	錦絵大判
186	歌川国貞	斧定九郎 松本幸四郎	錦絵大判
187	三代豊国	橋本屋抱白糸 坂東志うか	錦絵大判
181	勝川春英	谷風と瀧ノ音 小の川と楠	錦絵大判二枚続
182	勝川春英	雷電	錦絵大判
188	鳥居清長	隅田川料亭(大川楼上の月見)	錦絵大判二枚続
189	闇牛斎円志	隅田川料亭	錦絵大判三枚続
190	百斎久信	扇屋内花扇	錦絵間判
191	鳥文斎栄之	若那初衣裳	錦絵大判
192	喜多川歌麿	美人五面相 実があり相	錦絵大判
193	菊川英山	母と子	錦絵大判縦二枚続
194	溪斎英泉	傘美人	錦絵大判縦二枚続
195	歌川豊国ほか	鞍馬山見立 花合戦牛若丸	錦絵大判三枚続
196	歌川国貞	船宿の客	錦絵大判三枚続
197	歌川広重	東海道川つくし はこね谷川の図	錦絵大判三枚続
198	歌川広重	東都両国納涼花火之図	錦絵大判三枚続
199	歌川国芳	山海愛度図会 はやく酔いをさましたい	錦絵大判
200	司馬江漢	駿州八部富士	銅版画大判
201	亜欧堂田善	三俣真景	銅版画小判
202	歌川豊春	阿蘭陀フランスカノ伽藍之図	錦絵大判
203	柳々居辰斎	六郷渡	錦絵大判
204	歌川国虎	近江八景 三井晩鐘	錦絵大判
205	葛飾北斎	富嶽三十六景 尾州不二見原	錦絵大判
206	葛飾北斎	富嶽三十六景 武州玉川	錦絵大判
207	葛飾北斎	百人一首うはがゑとき 文屋朝康	錦絵大判

## 3. ゴッホと広重

208	歌川広重	五十三次名所図会 石薬師	錦絵大判
209	歌川広重	名所江戸百景 亀戸梅屋舗	錦絵大判
210	歌川広重	名所江戸百景 大はしあたけの夕立	錦絵大判

## 4. 幕末バラエティ

211	溪斎英泉	江戸不忍(しのばず)弁天ヨリ東叡山ヲ見ル図	錦絵大判
212	歌川国貞	紅毛油画風 永代橋馬喰町二丁目	錦絵大判

213	歌川貞秀	朝比奈島遊び	錦絵大判三枚続
214	大蘇芳年	佛蘭西大湊諸国交易図	錦絵大判三枚続
215	歌川芳幾	写真鏡 美人図	錦絵大判
216	二代歌川広重	ふらんす	錦絵大判
217	無款	亜墨利加人一覧相撲之図	錦絵大判
218	歌川国芳	相馬の古内裏 滝夜叉姫	錦絵大判三枚続
219	歌川国芳	鬼若丸大鯉を補う	錦絵大判三枚続
220	月岡芳年	清盛入道布引滝遊覧悪源太義平霊討難波次郎	錦絵大判縦三枚続
221	三代豊国	見立三十六歌撰之内 累の亡魂	錦絵大判
222	葛飾北斎	百物語 笑ひはんにや	錦絵中判
223	歌川豊国	尾上松助 こはだ小平次と女房の二役	錦絵大判
224	歌川広重	即興かげぼし尽(づく)し	錦絵大判
225	歌川国芳	人かたまって人になる	錦絵大判
226	歌川芳藤	からの子がよしかたまって人になる	錦絵大判
227	歌川芳藤	子猫あつまって大猫となる	錦絵大判

#### 5. 特別出品

1~ 30	葛飾北斎	東海道五十三次 絵本駅路鈴	錦絵中判
31~ 32	作者不詳	漫画絵巻	紙本墨画着色
33	歌川国芳ほか	扇面浮世絵貼交屏風	六曲一隻屏風

### 3. 1. 7. 生誕 110 周年記念 幸松春浦展—日本画の軌跡〈大正・昭和〉—

**概要** 幸松春浦【ゆきまつしゅんぼ 1897（明治 30）年～1962（昭和 37）年】は大分市に生まれた。1915（大正 4）年頃大阪に出て姫島竹外に入門し、南画を学んだ。1920（大正 9）年には第 2 回帝展に初入選し、1926（大正 15）年、1927（昭和 2）年の帝展では連続して特選となり、1927（昭和 2）年には無鑑査、1929（昭和 4）年には推薦、戦後の 1948（昭和 23）年からは日展委嘱として、官展系展覧会を中心に活躍した。

また、1921（大正 10）年日本南画院第 1 回展に出品。翌 1922（大正 11）年には日本南画院同人となり、1935（昭和 10）年まで同院にも出品するなど、近代日本画の創造に取り組む一方で、新たな南画の創造を目指した。

本展では大正・昭和と時代が大きく転換する中であって、日本画、洋画、南画それぞれの影響を受けながら新たな絵画を模索し、中央で高い評価を受けた幸松春浦の画業の全貌を紹介した。

**会期** 平成 20 年 1 月 5 日（土）～2 月 17 日（日） 公開日数 40 日  
**後援** 大分合同新聞社、NHK 大分放送局、OBS 大分放送、TOS テレビ大分、OAB 大分朝日放送、大分ケーブルテレコム、エフエム大分

**助成** 財団法人 地域創造

**出品点数** 日本画（南画）等 79 点及び関連資料

※会期中一部作品（80 点の内 8 点）の展示替を行った。

前期：1 月 5 日（土）～27 日（日）後期：1 月 29 日（火）～2 月 17 日（日）

**観覧者数** 4,506 人

**観覧料** 一般 600（500）円/高大生 400（300）円、中学生以下無料

※（ ）内は 20 人以上の団体料金

**展示解説** ■美術館職員による展示開設（要観覧料）

**日時** 会期中毎週水曜日 午後 2 時～

**場所** 企画展示室

**参加者** 160 名

**印刷物** ・ポスター B2 判・チラシ A4 判・図録 30 頁 A4 判

**関連記事** 「幸松春浦展始まる」『大分合同新聞』1 月 5 日

「戦時下ゆれた理想郷」『朝日新聞』1 月 18 日

「故郷大分愛し南画の心貫く」『大分合同新聞』2 月 7 日

「親せきの幸松春浦展「懐かしい」と磯崎さん鑑賞」

『大分合同新聞』2 月 16 日

（担当／岡村）

目録

(無印) 1月5日(土)～2月17日(日)  
 前期のみ 1月5日(土)～1月27日(日)  
 後期のみ 1月29日(火)～2月17日(日)

No.	作品名	制作年	寸法 (cm)	素材・技法	出品歴等	展示期間	所蔵
1	竹間門掩図	1916	116.8×35.4	絹本墨画淡彩			
2	米法山水図	1916～20頃	147.5×56.6	紙本墨画淡彩			
3	江南晩秋図屏風	1920	各 137.6× 354.2	紙本墨画淡彩			大分市 美術館
4	秋江吹笛図	1921	136.8×32.0	紙本墨画淡彩			
5	高士煎茶図	1921	24.0×36.5	紙本墨画淡彩			
6	江山清趣帖	1922	各上弦 13.8、下 弦 6.0、縦 6.2	紙本着色			
7	桃源図	1923	132.4×36.5	絹本着色			
8	山水図屏風	1924	156.5×172.8	紙本着色			大分市 美術館
9	南風生雨之図	1924	145.2×42.6	絹本墨画淡彩			
10	風雨渡江図	1925	44.5×120.7	紙本墨画			大分市 美術館
11	菜之花	1925	44.6×53.5	紙本着色			
12	南山白雲図	1926	134.1×34.4	絹本着色			
13	芍薬花図	1926	136.0×41.6	絹本着色		前期のみ	
14	雨後鷓鴣図	1927	142.5×51.5	絹本着色		後期のみ	大分市 美術館
15	水聲出谷	1927	150.7×33.2	紙本墨画			
16	蘭小禽図	1929	35.1×35.2	絹本着色			
17	梅花小禽図	1929	138.2×25.6	紙本墨画淡彩		前期のみ	
18	牡丹	1920代	138.0×33.3	紙本墨画淡彩		後期のみ	
19	柳塘朝涼図	1930頃	144.0×27.0	絹本着色			
20	松溪仙館	1931	141.6×42.4	絹本着色			
21	秋溪山水図	1933	144.6×34.0	絹本着色		前期のみ	
22	雪山幽居図	1934	149.6×32.2	紙本墨画淡彩		後期のみ	
23	松溪高士図	1935	137.0×51.8	絹本着色			
24	小鳥図	1935	26.9×18.0	紙本墨画淡彩			
25	溪上幽亭図	1930代	137.8×36.6	絹本着色			
26	高士観泉	1930代	138.0×36.4	絹本着色		後期のみ	
27	清溪遶屋	1930代	128.0×35.8	絹本墨画淡彩		前期のみ	
28	老子	1936	237.2×117.0	紙本墨画淡彩	昭和11年 文展(招待 展)		大分市 美術館
29	一谿流水	1930代	26.9×18.0	紙本墨画淡彩			
30	芍薬図	1937	127.1×29.0	絹本着色		後期のみ	
31	梅牛図	1937	122.0×33.0	紙本墨画淡彩		前期のみ	
32	南風生雨図	1937頃	131.8×29.4	紙本墨画淡彩		後期のみ	
33	空山雪後図	1930代	132.5×26.9	紙本墨画		前期のみ	

34	嵐峡春雨図	1930代	141.2×36.3	絹本墨画淡彩			
35	雪亭幽居	1930代	126.7×28.3	絹本墨画淡彩			
36	清池魚類図	1930代	30.0×42.0	絹本着色			
37	薫風図	1939頃	56.6×72.2	絹本着色			
38	雨収図	1930代	49.0×57.2	絹本着色		後期のみ	
39	鶴鳴九臯図	1930代	138.5×36.6	絹本着色			
40	瑞雪図	1930代	122.0×21.0	絹本着色			
41	後園初夏図	1930代	141.2×37.3	絹本着色		前期のみ	
42	牧童吹笛図	1930代	84.8×99.8	絹本墨画淡彩			大分市美術館
43	深山雲烟図	1930代	84.5×99.8	絹本墨画淡彩			大分市美術館
44	深山雲烟図	1930代	36.7×125.6	絹本墨画淡彩			
45	幽霊	1930代	150.0×29.0	紙本墨画淡彩		後期のみ	
46	蓮蟹図	1930代	56.5×70.0	紙本着色		前期のみ	
47	鯉	1943	35.8×43.0	絹本墨画淡彩			
48	飛瀑水禽図	1940代	131.8×31.8	紙本墨画淡彩			
49	湖上時雨図	1940代	139.6×42.2	絹本着色			
50	秋山帰樵	1940代	132.3×36.3	紙本墨画淡彩			
51	荒磯図	1940代	143.0×43.8	絹本着色			
52	清磨呂参宮図	1940代	115.4×33.5	絹本墨画淡彩			
53	長楽無極画冊	1947	各26.8×35.6	紙本着色			
54	観音	1950代	117.7×44.0	紙本着色			
55	仙隠	1950代	133.5×52.5	紙本墨画淡彩			
56	秋草兔	1951頃	115.2×131.0	紙本着色			
57	牧歌	1953	161.0×176.0	紙本着色	第9回日展		大分県立芸術会館
58	雨情	1954	136.0×123.5	紙本着色	第10回日展		
59	山路	1950代	50.2×53.0	紙本墨画淡彩			
60	早春閑日	1950代	52.5×58.4	紙本墨画淡彩			
61	旅立	1950代	47.0×51.8	紙本墨画淡彩			
62	帰漁図	1950代	50.0×57.8	絹本墨画淡彩			
63	竹林帰漁図	1950代	91.0×90.0	紙本墨画淡彩		常設展示室1	
64	西行十題之内 桜	1950代	45.4×52.4	紙本墨画淡彩			
65	小春日	1950代	46.5×53.1	紙本着色			
66	小禽図	1950代	48.8×54.1	紙本着色			大分市美術館
67	寒林棲湮図	1950代	53.5×54.0	紙本着色			大分市美術館
68	山野立春	1955	57.7×58.6	紙本着色	個展(大阪なんば高島屋)		
69	夕映	1958	52.6×57.9	紙本着色	個展(大阪なんば高島屋)		

70	溪韻	1960	53.0×58.2	紙本着色	個展(大阪 なんば高 島屋)		
71	西行	1950代	53.2×54.0	紙本墨画淡彩			
72	大淀	1950代	58.5×19.9	紙本着色	個展(大阪 なんば高 島屋)		
73	朝陽	1950代	47.8×53.1	紙本着色			
74	湧雲	1960頃	59.0×67.2	紙本着色	個展(大阪 なんば高 島屋)		
75	春	1961	47.0×52.8	紙本着色			
76	晚秋	1950~60代	52.2×58.4	紙本着色			
77	川船鷺	1950~60代	52.5×59.8	紙本着色			
78	風月帖	1950~60代	24.0×18.0	紙本墨画淡彩 他			
79	風月帖	1950~60代	30.0×20.0	紙本墨画淡彩 他			
資料 1	幸松春浦関係資料 1	1950~60代			資料		
資料 2-1	春浦遺影(葉書冊 子綴)	1950~60代	(画帖) 17.8 ×23.8	紙本墨書、紙本 着色 他	資料		
資料 2-2	春浦書状卷(16通 1巻)	1950~60代	22.6×35.5	紙本墨書 他	資料		

### 3. 1. 8. 第 42 回大分市美術展覧会

概 要 美術の各分野における市民の創作活動を促進し、発表と鑑賞の機会を提供することによって、多様で豊かな文化を創造する市民の育成をめざして開催した。

会 期 平成 20 年 2 月 28 日(木)～3 月 22 日(土) 公開日数 22 日

会 場 大分市美術館

表 賞 式 3 月 2 日 午後 2 時～2 時 30 分

主 催 大分市、大分市教育委員会、大分市美術展覧会実行委員会

後 援 大分県美術協会、アート・ブラザー、国際ソロプチミスト大分、大分合同新聞社、NHK 大分放送局、OBS 大分放送、TOS テレビ大分、OAB 大分朝日放送、大分ケーブルテレコム、エフエム大分

展示点数 501 点

観覧者数 7,556 人

観覧料 無料